

プラス1



～いつもの支援を一工夫～

岐阜県立東濃特別支援学校
地域支援センター通信
No. 35 (H29. 9月号)



公開講座（センター的機能研修会）へのご参加
ありがとうございました！！

今年度は、岐阜大学 船越高樹先生、小児科医 中野正大先生を招聘し、研修会を行いました。どちらの講座も、たくさんの皆様にご参加いただきました。また、研修後のアンケートのご協力、ありがとうございました。ご意見やご感想は、講師の先生方にお渡ししました。研修会の運営に関しまして、今後開催の際の参考にさせていただきます。

大学での支援の話が、参考になった。サポートルームがあることに驚きました。以前は入学要項の段階で制限されたが、時代の変化を感じました。



先生の言われた「やって見せて、一緒にやって、一人でできたらほめる」が、自己肯定感を育てることにとても役に立つ言葉だと思いました。

第2回

福祉サービス事業所との交流会

日 時：H29年10月27日（金）
9：30～12：00

内 容：公開授業
（小・中学部、高等部）

対象者：日中活動事業所

本校児童生徒が、学校卒業後に利用していくことになる福祉サービス事業所の方々をお迎えして、公開授業を参観していただきます。

本校児童生徒の学校生活や授業の様子を知っていただき、福祉と学校が連携を深めることができればと思います。

岐阜県立東濃特別支援学校

キラキラハッピー 学校祭

11月18日(土) 入場無料
9:30～14:45
瑞浪市総合文化センター

9:30 から	瑞浪市 ゆるキャラ集會	10:00 から	あそび・展示 コーナー	11:30 から	作業製品販売
------------	----------------	-------------	----------------	-------------	--------

10:00
から
福祉事業所の製品・商品、食べ物の出店多数!!

※主催：岐阜県立東濃特別支援学校
※協賛：瑞浪市総合文化センター、岐阜県立東濃特別支援学校
※お問い合わせ：電話 0574-77-1111 岐阜県立東濃特別支援学校

iPad を使った学習

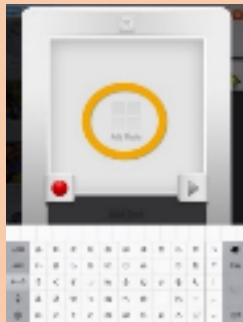
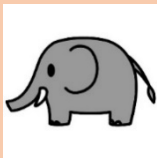
今回のトピックスは、iPad を使った学習についてご紹介します。iPad は視覚優位、聴覚優位、どちらの特性にも有効な教材です。また、ゲーム感覚で学習を進められるので、意欲的に学習に向かうきっかけにもなります。今回は、学習で使えるたくさんのアプリの中でも特に子どもたちの興味や学びに応じて十なに設定を変えることができるアプリを紹介します。



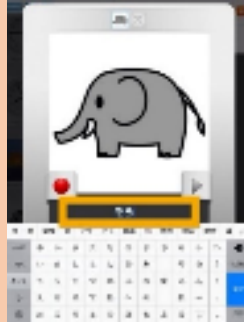
<Bitsboard Pro>

Bitsboard Pro は、画像と文字、音声を登録するだけで、ワンタッチのさまざまなゲームを作成してくれるアプリです。作成はとても簡単です。「ぞう」をつくるときには、①画像を登録、②文字を登録、③音声を登録します。

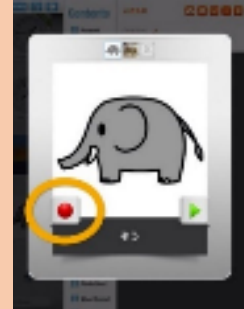
①



②



③



このようにいくつものカードを作成するだけで、何種類ものゲームを作成してくれます。例えば、音声を聞いて正しい画像をタッチする「photo touch」、画像と文字や音声の表示があるか判断する「True or Fales」、文字を正しく並べる「Word Builder」等があります。そして、それぞれのゲームの難しさを「設定」画面で細かく子どもに合わせることができます。

iPad のアプリには、学習だけでなく、生活支援につながるアプリもあります。タイマーアプリやコミュニケーションの補助をするアプリ、見通しを立てるためのスケジュールアプリ、視覚のトレーニングアプリ等、様々な生活場面に役立ちます。児童の実態に合わせてアプリや使い方を工夫することで、効果的に活用していけるといいですね。

